

ハイブリッドシンポジウム
「インパクト投資」で地域課題を解決～鹿児島での可能性～

お金でのリターン(投資収益)だけではなく、環境・健康・貧困など SDGs でも対象とする社会的課題の解決というリターン(インパクト)の概念を併せ持つことで、公的な資金だけでは難しかった分野に民間資金の活用を促進する新たな枠組みとして、世界そして日本でも注目され政府も普及に力を入れている「インパクト投資」。これまで日本での取り組みを最先端で主導されてきた二人の専門家による、鹿児島ではじめてのシンポジウムです。

日 時：2023年12月16日(土) 午前 10:15～12:15 (会場受付 9:45 より)

参加費：無料

会 場：かごしま国際交流センター多目的ホール <https://www.kiex.jp/facility/>
および Zoom での遠隔視聴
(会場の収容人数の関係で現地参加は先着 150 名とさせていただきます)

① 鹿児島県塩田康一知事・鹿児島市下鶴隆央市長 ごあいさつ

② 青柳光昌(アオヤキミツサ) 社会変革推進財団専務理事 講演

1991年、日本財団に就職。役員秘書を経て、障害者の移動困難の解消、NPO支援センターの強化施策など民間による公益活動の促進に従事。2011年東日本大震災直後から、同財団の特別支援チームのリーダーとして、企業や行政と連携した多くの復興支援事業を企画、実施する。その後、子どもの貧困対策を担当し、2017年より現職。わが国初のソーシャルインパクトボンド導入など、インパクト投資普及のためのパイロットモデル実施や調査研究を行っている。公益財団法人ベネッセこども基金理事、グロービス経営大学院、昭和女子大学大学院非常勤講師。

③ 黄春梅(ファンチュンメイ) 新生インパクト投資株式会社代表取締役 講演

新生企業投資株式会社 マネージングディレクター/新生インパクト投資株式会社 代表取締役
上海財経大学経済学部卒、神戸大学経営研究科修士号。米国公認会計士、CFA協会認定証券アナリスト。2005年より新生銀行(現SBI新生銀行)にて一貫して自己勘定投資業務に従事。ベンチャー投資、バイアウト投資、ファンド投資などを担当。ファンドの投資委員、上場企業を含む複数の投資先およびファンド運用会社の取締役や監査役を歴任。2017年より邦銀系初のインパクト投資ファンド「子育て支援ファンド」および2号ファンド「はたらくFUND」を創設。

GSG(The Global Steering Group for Impact Investment)国内諮問委員会委員、一般社団法人日本CFA協会理事、多摩大学社会的投資研究所客員研究員等を兼任。
日経WOMAN「ウーマン・オブ・ザ・イヤー2019」受賞。

④ 講演質疑・パネルディスカッション

参加お申し込みは現地会場・Zoomとも下記のHPからお願い致します。現地会場のかごしま国際交流センターの駐車場には数に限りあります。周辺には一般のコインパーキングもございしますが、市電・バスの「甲東中学校前」から徒歩1分ですので公共交通機関をご利用くださいませ。かごしま国際交流センターのビルの2箇所の入り口に検温計と手指消毒ボトルが常備されておりますので感染防止にご協力くださいませ。

参加申込 HP: <https://forms.gle/CqBr8HFPeThJWrjZ6>



主 催：鹿児島インパクト投資普及連絡会 (email: impact.kagoshima@gmail.com 津曲)

後 援：公益財団法人九州経済調査協会